

だて復興・再生 ニュース

伊達市

第17号

[編集・発行] 伊達市放射能対策課 〒960-0692 伊達市保原町字舟橋180 本庁舎3階 ☎575-1003

●平成26年8月28日発行

年間1ミリシーベルトは、 空間線量で毎時0.23～0.6マイクロシーベルト

伊達市など4市が提起した「放射能被ばく対策として目指すべき目標値である年間被ばく線量1ミリシーベルトは、空間線量では毎時0.23マイクロシーベルトより高くても達成できるのではないか」という問題に対し、このほど、環境省から回答がありました。

これによると、「毎時0.23～0.6マイクロシーベルトであれば、年間1ミリシーベルトが達成出来る。本来、空間線量が低くても、本人が行動する場所の環境によって被ばく線量は変わってくるものであるから、空間線量の高低ではなく、個人個人の被ばく線量を管理していくことが重要なのである。」としています。

当市も早い時期から、ガラスバッチによる累積線量の管理に取り組んで来たところでもあり、今回の国の見解はそれを改めて認証いただいたものと考えております。その意味でも、市民の被ばく線量を出来るだけ低減するために、早期の除染完了を目指して来たところです。

また同時に、国は「そもそも、年間被ばく線量1ミリシーベルトが空間線量で毎時0.23マイクロシーベルトであるということ、除染のみで達成する目標として示したことはない。0.23はあくまで市町村が行う除染地域指定の基準値である。」と改めて発表しました。そして、国は、「年間被ばく1ミリは、空間線量で一律に判断するのではなく、個人の被ばく線量に着目しながら、除染手法を検討していくことが有効である」とも言いました。

これは、我々にとって非常な驚きで、現実には、県が行う除染交付金の判断根拠としても0.23は使われており、かつほとんどの自治体も除染実施計画の中でうたっておりますから、今さら基準では無いと言われると、「では、どうすればいいのか」と困惑してしまうことから変更しないとしている自治体もあります。

当市は、除染の迅速化のためエリア別に行いましたが、そのエリアは年間被ばく線量の高低によって決めました。しかし、現実的には空間線量で決めるしかなく、その基準としては国が公表した計算値である、年間被ばく線量1ミリシーベルト＝空間線量毎時0.23マイクロシーベルトを使って換算し、決定しましたから、0.23が変わればエリアも変わるということになりますが、年間1ミリシーベルトの範囲が空間線量で毎時0.23より大きな値になるとすれば、安全サイドに振れるだけです。心配はありません。

いずれにしても、今回の国の見解変更は、当市の放射能対策に変更は無く、むしろ安全サイドにあることが明らかになった他、当市が進めている個人別被ばく管理が重要であることが確認されたものと考えております。

伊達市長 仁志田 昇司

だて
復興・再生
最前線

旬の味に首都圏参加者も舌鼓 だてな暮らし体験ツアー開催

風評被害対策として首都圏の消費者を対象に、第1回「だてな暮らし体験ツアー」が8月9日(土)・10日(日)開催されました。「ふくしまの食べ物のおいしさを1人でも多くの皆さんに味わってほしい。」「安心安全に向けて取り組む地元の方々の声や姿を知ってほしい。」という思いでツアーを企画した地域おこし支援員のメンバー。参加者は、地元農家の方との交流や旬の桃狩り・夏野菜の収穫などを楽しみ、また、福島県における検査体制を学びました。採れたての桃をその場でかぶりついた参加者は「おいしい!」と舌鼓。東京都内から参加した女性は「福島県産の食べ物は検査されているので、安全性に信頼がもてる。」と話していました。このツアーは、11月にあんぼ柿づくり体験、来年2～3月にいちご狩り体験と、続けていく予定です。



桃狩りを楽しむ親子参加者

ガラスバッジによる年間測定結果(速報)

ガラスバッジ測定による年間追加被ばく線量の速報値について、お知らせします。

測定者数(第1期～第4期まで継続して測定し、平成26年8月5日までに回収された方)

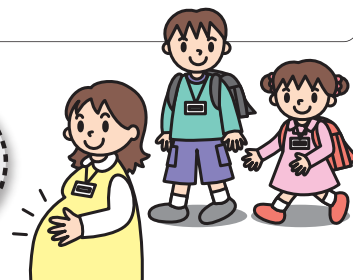
今回:18,674人(前回:52,783人)

※前は、全市民を対象としていましたが、平成25年7月以降は、

- ①0～15歳・妊婦・ABエリア全員、
- ②モニタリング抽出者、
- ③希望者に変更となっています。

※前回と今回の測定期間

[前回]平成24年7月～平成25年6月 [今回]平成25年7月～平成26年6月

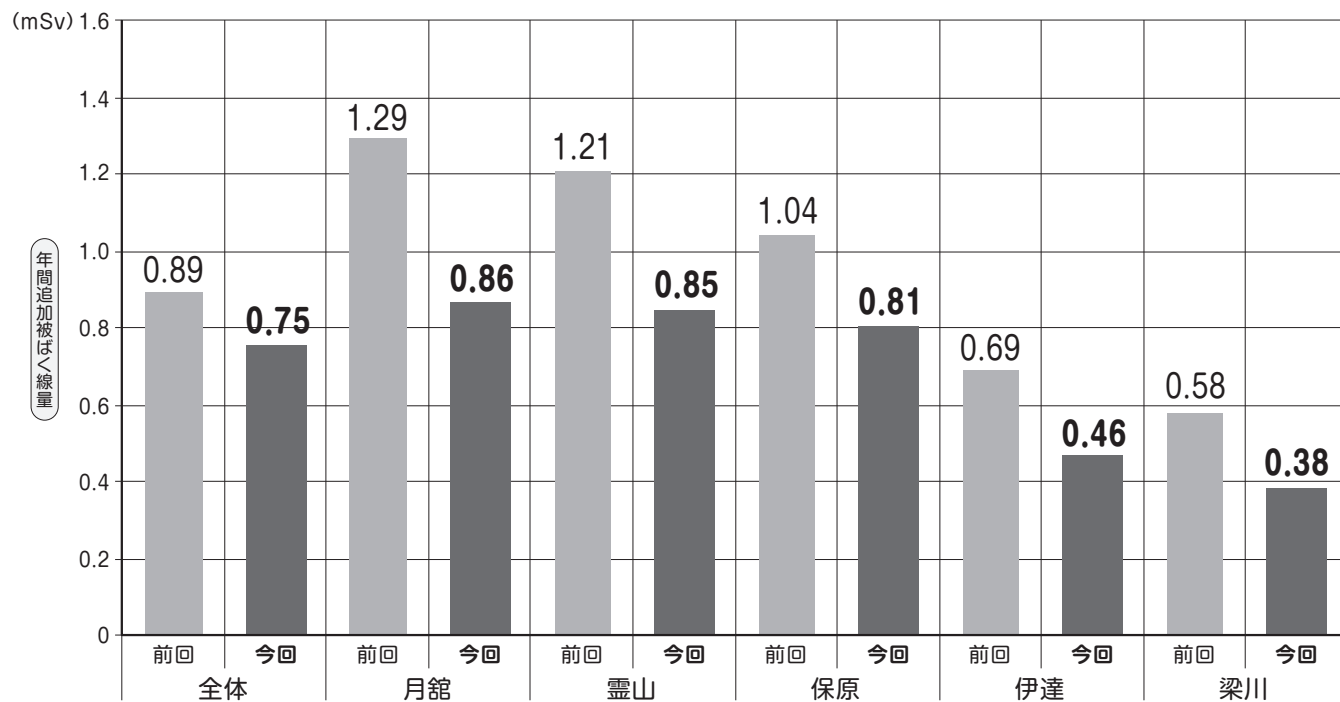


市の平均は0.75ミリシーベルト(前は0.89ミリシーベルト)

年間個人追加被ばく線量の平均は、全体で0.75mSvとなっており、前回(0.89mSv)より減少していることが確認できました。減少の要因は、除染が進んだことと放射性物質の自然減が考えられます。

●平均値の前回との比較

■ 平成24年7月～平成25年6月 ■ 平成25年7月～平成26年6月



3ページにつづく

お遊び・おしゃべり場

避難先から戻られた親子たちが、リラックス親子遊びなどで、癒しの時間を過ごしたり、情報交換をしたり、おしゃべりを楽しむ場として利用されています。



実施日	時間	場所・対象者・内容など
9月3日(水)	9:30～11:30	<ul style="list-style-type: none"> ●対象/自主避難先から戻られた親もしくは親子 ●内容/親子および母親のリラックス遊びおしゃべりタイム ●場所/保原保健センター(保原町大泉字大地内100) ●スタッフ/臨床心理士、保育士、保健師
10月1日(水)		

●健康推進課まで、お問い合わせの上、参加ください。

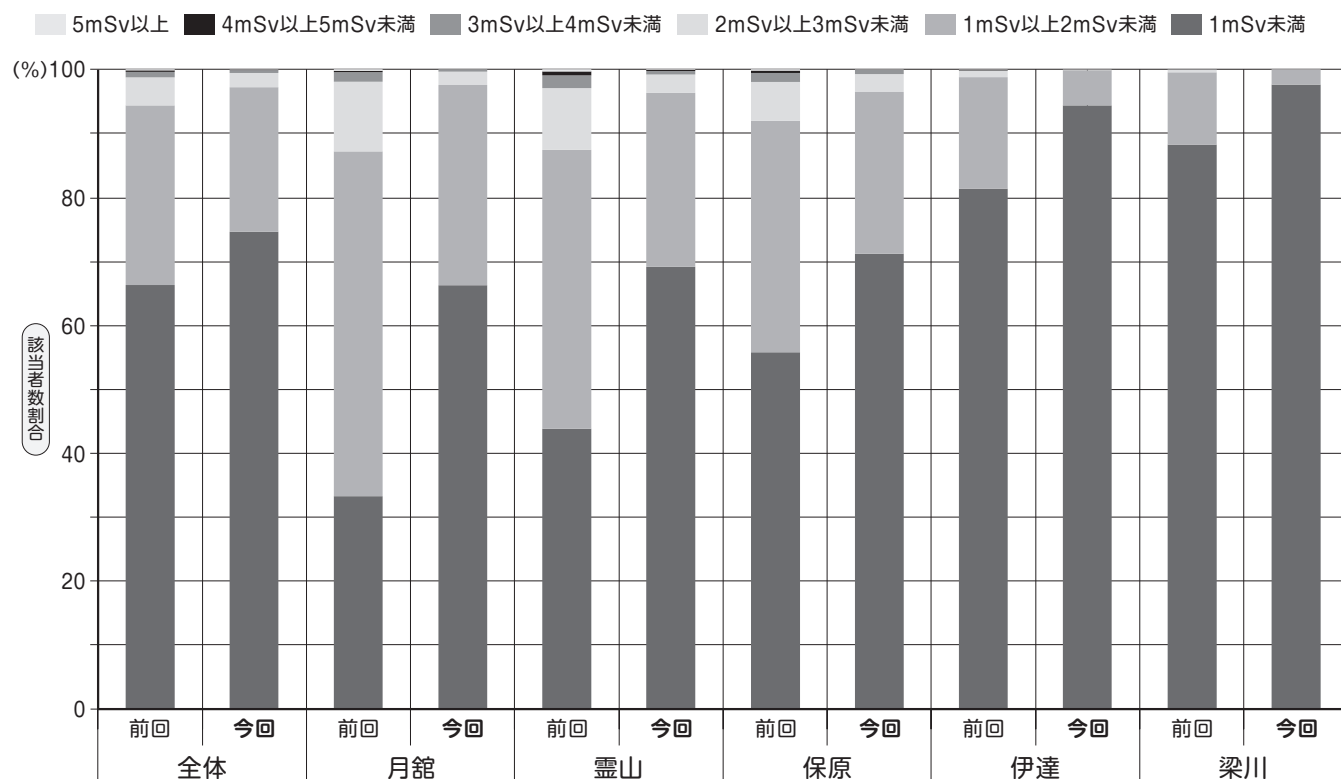
☎健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

1ミリシーベルト未満の方は74.58%(前回は66.26%)

平成25年7月から平成26年6月までの年間追加被ばく線量ごとの該当者数の分布は、1mSv未満が74.58%で、前回より8.32ポイント増加しました。1～2mSv未満では22.61%、2～3mSv未満は2.22%の分布となりました。

地区別では、1mSv未満の割合が最も多いのは梁川地域の97.62%でした。

●年間追加被ばく線量分布の前回との比較



(単位: %)

年間追加被ばく線量 (mSv)	全体		月舘		霊山		保原		伊達		梁川	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
5以上	0.14	0.06	0.21	0.04	0.35	0.10	0.21	0.05	0.04	0.06	0.01	0.00
4～5	0.24	0.06	0.21	0.00	0.61	0.16	0.36	0.04	0.11	0.06	0.01	0.00
3～4	0.88	0.46	1.53	0.31	1.97	0.55	1.40	0.65	0.11	0.00	0.04	0.00
2～3	4.38	2.22	10.89	2.12	9.67	2.87	6.06	2.82	0.96	0.06	0.42	0.05
1～2	28.10	22.61	53.95	31.32	43.66	27.24	36.24	25.29	17.44	5.45	11.31	2.33
1未満	66.26	74.58	33.20	66.21	43.75	69.08	55.73	71.15	81.33	94.35	88.20	97.62

問 健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

伊達放射能健康相談窓口

放射線・放射能の不安などありましたら、ご相談ください。

実施日	時間	場所・連絡先
9月 2日(火)	9:30～ 11:30	保原保健センター ☎575-1153 保原町大泉字大地内100 出張相談も行っています ●予約制となります
9月 9日(火)		
9月16日(火)		
9月30日(火)		



◎相談員 / 放射線安全フォーラム会員
半谷 輝己さん

※医学的なことは医師の相談会にご案内する場合があります。

問 健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

平成26年度こどもリフレッシュ事業 サマーキャンプ開催 長野県でのびのび自然体験

原発事故の影響で、こども達がのびのびできる環境が少なくなっていることから、夏休みを利用した「こどもリフレッシュ事業」を、今年も開催しました。

8月5日(火)～8日(金)にかけて、長野県野辺山学園に市内の小学生132人が訪れ、サマーキャンプとして自然体験や交流活動を楽しみました。

同事業では、他に8月13日(水)～15日(金)にかけて南会津でもサマーキャンプを行っています。



清泉寮で高原散策(8月6日)



アクアリゾート清里でプールを楽しむ(8月6日)



ラジオ体操(8月6日)



滝沢牧場で牧場体験(8月7日)



南牧村北小とタグラグビーで交流(8月7日)



キャンプファイアー・花火(8月7日)

帰還についてご相談ください

東京電力福島第1原発事故から3年が経過し、徐々に伊達市への帰還も進んでいる状況です。市では、この4月から相談員を配置して定住、帰還を考えている方のために、就労及び住宅に関する相談業務を実施しています。希望される方は、電話、メール等でお気軽にご相談下さい。

相談員を
配置しました



相談先 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1126 E-mail: radc@city.date.fukushima.jp

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1126

市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値(市測定、※印は国測定) (単位: マイクロシーベルト/時間)

測定地点	8/18	8/11	7/28
伊達総合支所 正面駐車場	0.17	0.18	0.18
梁川総合支所 正面銅像前	0.16	0.15	0.16
保原本庁舎 正面駐車場※	0.22	0.23	0.24
富成郵便局 県道路肩	0.19	0.21	0.20
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	0.46	0.48	0.50
富成グリーンタウン タウン内公園	0.35	0.34	0.34
富成十区集会所 入口	0.54	0.56	0.57
霊山総合支所 駐車場	0.19	0.20	0.20
霊山パーキング 駐車場中央※	0.28	0.29	0.29
坂ノ上集会所 入口	0.35	0.38	0.39
八木平バス停留所 回転場中央	0.26	0.26	0.28
小国ふれあいセンター 駐車場※	0.29	0.29	0.29

測定地点	8/18	8/11	7/28
下小国中央集会所 入口※	0.33	0.33	0.35
岩代小国郵便局 国道路肩	0.24	0.22	0.25
末坂バス停留所 県道路肩	0.37	0.40	0.46
大木バス停留所 県道路肩	0.19	0.21	0.21
月館総合支所 駐車場	0.15	0.15	0.15
国道399号飯館村境 国道路肩	0.40	0.40	0.42
月館相蔵公民館 県道路肩	0.49	0.52	0.52
掛田上組集会所 市道路肩	0.30	0.33	0.33
掛田日向前団地 集会所前	0.23	0.28	0.28
県道白石月館線飯館村境 県道路肩	1.20	1.25	1.36
大柳字栃窪 市道路肩	0.36	0.37	0.41

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003